

「暑さ寒さも彼岸まで」と言われます。この夏の厳しい暑さにうんざりしている方も多いでしょう。この通信が発行される頃には少しは涼しく過ごしやすくなっていることと思います。この言葉は転じて「困難な状況もやがて収まる日が来る」という意味で使われることもあるとか。いつも十字架のキリストに自分の十字架を重ねて、救いの喜びに希望をもって歩いていきましょう。

+++++

感謝のつどい



9月14日(日)に「感謝の集い」が行われました。66名の方をお迎えして、ミサ中に神父様から祝福をいただきました。ミサ後は、ロビーにて神父様を交えて、お茶とお菓子で笑いの絶えない歓談が行われました。

私が大宮教会に来た30年前にいろいろ教えてくださった皆様が今もお元気でいらっしゃることをとてもうれしく思います。皆様が守り築いてこられた、この教会をこれからも一緒に守り続けていけます

ように。いつまでもどうぞお元気で！

地区部 齊藤

+++++



内容【感謝のつどい】【震災復興カレーの会】

【信徒委員会】【成人養成部】【ART DAYS205】

【今後の予定】【10月はロザリオの月】【被造物を大切にするためのミサ】

【サモア～主によばれて(42)】

<信徒委員会・各部からのお知らせ>

+++++

<成人養成部より>

- * 10 月 19 日 (日)
ロザリオの祈り (ミサ前、10 : 00~)
- * 10 月 26 日 (日)
黙想会 (バレンティン・デ・
スーザ神父様) のスケジュール
10:00~10:45 黙想会 1
11:00~12:15 ミサ
12:45~14:00 黙想会 2

- * 11 月の第二日曜日(11/9)から第四日曜日
(11/23) まで 3 回にわたって「ゆるしの
秘跡」の勉強会を行います。(ミサ前の
10:00~10:45) 聖年の間にいただくゆる
しの秘跡がより深いものとなるために、も
う一度ゆるしの秘跡について学びましょう。

<ART DAYS2025>

- 12 月 13 日 (土)、14 日 (日) 参加者募
集中です。

<https://catholic-omiya.org/action/>

+++++

<今後の予定>

墓前ミサ (大宮教会の共同墓地 (川越))

9 月 23 日 (火・祝) 11:00~

11 月 3 日 (月・祝) 11:00~

クリスマスの予定

12 月 24 日 (水) 降誕祭夜半ミサ 19:00~

12 月 25 日 (木) 降誕祭日中ミサ 10:00~

12 月 28 日 (日) 聖年閉幕ミサ (浦和教会) 15:00~

1 月 1 日 (木) 元旦ミサ 11:00~

※1 月 4 日よりキリアーレ (賛歌) を C に変更します。

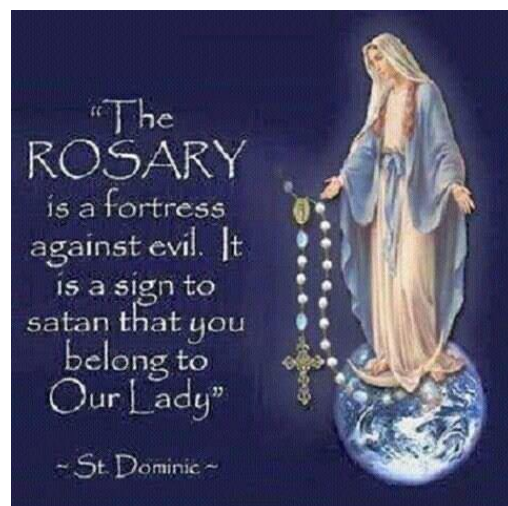
+++++

10 月はロザリオの月です

ロザリオは悪に対する砦であり、あなたが聖母マリアに属しているということを悪魔に示す印です。

聖ドミニコ

ロザリオの信心は、聖ドミニコ (1170~1221) が異端と戦っている時、聖母マリアからの啓示を受けたのが始まりだとされています。さらにドミニコ会士らがこの信心の普及に尽くしたことも大きいようです。一定の形式の祈りを連続して唱える修道会での習慣が何時でも、何処でも、誰とでも自由な形でできることから次第に信徒の中に浸透してきたと考えられます。10 月 7 日は「ロザリオの聖母」の記念日ですが、これは 1571 年のギリシア・レバントの海戦でキリスト教徒がオスマン・トルコ軍に対して勝利を収めたことを記念して、聖ピオ五世教皇 (1566~1572) によって定められました。この勝利は、ロザリオの祈りによってもたらされた聖母の助けによるものであると信じられています。またレオ十三教皇 (1878~1903) は 10 月を「ロザリオの月」と決めました。(カトリック中央協議会)



「被造物を大切にするためのミサ」について

日本の教会の皆様へ

ローマ教皇庁典礼秘跡省は去る7月3日、『ローマ・ミサ典礼書』の「種々の機会のミサまたは種々の目的のためのミサ」に加える「被造物を大切にするためのミサ」の新しい式文と聖書朗読箇所を発表しました。その翻訳を日本カトリック典礼委員会が準備し、このたび常任司教委員会によって承認されましたので、典礼秘跡省の「教令」とともに公表いたします。このミサの式文は、とくに「すべてのいのちを守るための月間（9月1日から10月4日まで）」に使用することが勧められます。

現在、世界のキリスト教諸教派の間では、神による創造のみわざを思い起こすための記念日を典礼暦に加えることが検討されています。昨年3月と12月、そして今年の5月には、そのためのエキュメニカルな会議がイタリアのアッシジで開催されました。カトリック教会ではとくにフィリピン司教協議会が積極的に取り組んでおり、昨年12月には教皇フランシスコに宛てた要請の書簡が複数の司教協議会による連名で送付され、日本司教団も名を連ねました。ローマ・カトリック教会としての公式の決定はまだ先になるかもしれませんが、今回の新しいミサの式文は、新しい記念日の制定に向けた第一歩ともいえるものでしょう。

昨年から今年にかけて、アッシジの聖フランシスコによる「太陽の賛歌（被造物の賛歌）」が作られてから800年を記念する行事が世界各地で行われています。この賛歌の一節で始まる回勅『ラウダート・シ——ともに暮らす家を大切に』（2015年）の中で、教皇フランシスコはこう述べています。「存在するすべてのもののの中に映し出される神を見ることができるとき、わたしたちの心は、すべての被造物のゆえに主を賛美し、すべての被造物と一つになって主を礼拝したい、という願望に動かされます」（回勅『ラウダート・シ』87）。この式文を用いたミサを通して、神による創造のみわざを賛美するとともに、造られたすべてのものと調和して生きることの大切さを思い起こしていただきたいと思います。

2025年8月15日 聖母マリアの被昇天の祭日に

日本カトリック司教協議会会長 菊地 功枢機卿

✦ サモア～主に呼ばれて (42) ✦

新学期が始まる前に、校長先生から担任になるように話がありました。11年生（日本の高校1年生）の担任です。10年生と11年生は2学級あり、G組とW組です。GはGold（金）、WはWhite（白）です。私は11Wの担任になりました。

新学期は1月の最終週から始まります。この年は1月27日（月）が新年度のスタートです。日本と違って、月曜日から始まりますし、入学式はありません。すぐに授業スタートとなります。

私のクラスの生徒は、51人いたと思います。日本のように定員がはっきりしていないようで、希望があれば受け入れているようでした。9年生は3クラスの募集です。10年生から2クラスになります。

小学校だけが義務教育なので、生徒は少しずつ減っていきます。年度末での退学が多いのですが、年度途中で来なくなってしまう生徒もいました。私が担任した学年は、10年生から11年生になるときにあまり減らなかったもので、年度当初は生徒が多かったようです。

この年から共学化が始まりました。9年生は男子も入学しました。男子の制服は、上が白いワイシャツ、下が黄色いラバラバ（巻きスカートのようなもの）でした。女子の制服は変わらず、白



いブラウスに黄色いジャンパースカートです。

この年は、数学だけでなく、体育も担当するように言われました。数学は教科書もあるし、何をどう教えたらいいかもわかっている、良かったのですが、体育は教えたこと

もなければ、施設はもちろん、道具もありません。また、この国の学校としてどんなスポーツを取り上げたらよいのかもわかりません。去年は体育がなかったか、あったとしたら何をやっていたかもわかりません。サモア人の先生に聞いたら、草刈りをやらせればよいと言われました。体育で草刈りと思いますが、雑草もすぐに伸びてしまうので、確かにいい運動にはなります。

体育は9年生と10年生の5クラスで、各クラス週1時間。数学は、9年生から11年生までを1クラスずつ担当して、毎日3時間教えることになりました。毎日数学が3時間と体育が1時間だったように記憶しています。

数学はまだしも体育は本当に困りました。道具であるのは、ソフトボール用のグローブが5個くらいとソフトボールが2個くらい、ベースも2つくらい。バットは1本。それと、ネットボール用のゴールが1組。ボールはバスケットボールかなんかがあっただけです。

ネットボールは、主にイギリス連邦で行われている競技で、女子がやります。ボールはパスで運ぶだけです。選手は移動できる範囲が決まっているので、パスをしてボールをチームメイトに渡さないとシュートができません。シュートするゴールは、バックボードがないバスケットゴールのようなものです。今は、インターネットがあるので、すぐにどんな競技が調べられますが、当時はそういうものはないので、だれも分かりません。教えてくれる人がいないので、ゴールがあっても授業ではできません。おまけに、生徒は制服に、ビーチサンダルだけです。体育着も、運動靴もありません。これでは確かに、草刈りしかやってこないわけです。

見沼区 齋藤

✪ おおみや教会通信はカトリック大宮教会のHP (<https://catholic-omiya.org>) でご覧になれます。

* ご意見や投稿（本などの感想、特集してほしいことなど）を募集しています。

FAX か郵送で受け付けています

〒330-0803 さいたま市大宮区高鼻町2丁目350 FAX 048-641-2724

カトリック大宮教会 広報部宛

* おおみや教会通信 10月号は10/5 発行予定、原稿締め切り10/19

